

1. 【お知らせ】 ワークライフバランス推進への御協力をお願い
2. 【開催案内】 日本学術会議主催学術フォーラム
「グローバル政策ネットワークと国際機関 ―東アジア通貨金融秩序を中心に―」
3. 【開催案内】 公開シンポジウム
「Gender Equality 2.0 から SDGs を展望する―架け橋― ～GS10 フォローアップ 2019～」

■-----
【お知らせ】 ワークライフバランス推進への御協力をお願い
-----■

会員及び連携会員 各位

日本学術会議会長
山極 壽一

ワークライフバランス推進への御協力をお願い

標記について、平成27年度から政府全体としてゆう活の取組が行われており、本年においても、7月及び8月の実施期間中は職員の勤務時間帯を1時間程度早め、かつ原則定時退庁を行うとともに、原則16:00以降やお盆期間に会議時間を設定しないとの取組を徹底することとなっております。

つきましては、7月及び8月において、日本学術会議の会議室を会場とされる場合、会議時間は、既に設定されている会議を除き、上記原則に従って設定していただきますよう、御協力をお願い申し上げます。

なお、進化医学の観点から、現代の就業環境は人体の健康とミスマッチを生じています。くれぐれも人間の身体に合った日々の活動に心がけていただきますよう、自己管理をよろしくお願いいたします。

■-----
【開催案内】 日本学術会議主催学術フォーラム

「グローバル政策ネットワークと国際機関 ―東アジア通貨金融秩序を中心に―」
-----■

・日時：2019年6月28日（金）13時30分～17時00分

・場所：京都大学国際科学イノベーション棟シンポジウム・ホール

・主催：日本学術会議

・開催趣旨：

現今、グローバル化が進展する中で、経済変動、気候変動、伝染病、人口移動などのグローバル問題の深刻化が懸念されている。その一方、国家間対立やポピュリズムによって国際政治が機能不全に陥っている状況で、問題解決に向け、国際機関と国家行政機関を連携したグローバル行政ネットワークに対する期待が高まっている。学問においても、グローバル行政ネットワークを考察する思考の枠組として、脱政府間主義やグローバル行政法などが提示され、その実態、課題、国際政策協調の可能性などについての研究が進展している。本フォーラムは、このような前提に立って、関係分野の研究者2名程度、国際機関の代表者、日本政府の代表者を糾合し、学問とグローバル行政との連携とその問題について多角的に議論すること目的とし、一般および大学生、大学院生、教職員などに公開するものである。京都大学で開催予定の本フォーラムでは、東アジアにおける通貨金融問題に焦点を当てる。

・次第：<http://www.sci.go.jp/ja/event/pdf2/279-s-0628.pdf>

・お申込み：<https://ws.formzu.net/fgen/S35778575/>

・問合せ先：

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
電話：03-3403-6295

■-----
【開催案内】公開シンポジウム

「Gender Equality 2.0 から SDGs を展望する一架け橋 ― GS10 フォローアップ 2019 ―」
-----■

・日時：2019年7月4日（木）13時00分～17時30分

・場所：国立研究開発法人科学技術振興機構 東京本部 地下1階大会議室

・主催：国立研究開発法人科学技術振興機構、日本学術会議科学者委員会男女共同参画分科会

・開催趣旨：

ジェンダーサミット10（GS10）で行われた議論や各テーマがその後どのように取り生まれ、新たな展開が図られたか、より広い関係者で共有し、更なる議論を行う。特に、GS10 で出した東京

宣言において提案した Gender Equality2.0 が世界中でどのように共有されたか、今後どのように展開されるべきか、SDGs の観点から展望する。また、わが国の学術におけるジェンダー平等に関する継続的な取り組みを実施する流れ（PDCA）を作る。

- ・次第：<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/278-s-0704.pdf>
- ・お申込み：<https://www.jst.go.jp/diversity/activity/seminar/gsl0fu2019.html>
- ・アクセス：地下鉄有楽町線 麴町駅より徒歩 5 分、
JR 総武線・地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線 市ヶ谷駅より徒歩 10 分、
地下鉄半蔵門線 半蔵門駅より徒歩 10 分
- ・問合せ先：科学技術振興機構 藤井・松本（03-5214-8443）

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=358&m=43837&v=1df19456>

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=359&m=43837&v=b87a0458>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=360&m=43837&v=c3adea19>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34